

学校説明会

平成14年度から、新制単位制東高のPR活動をおこなっています。平成15年に58回生(単位制1期生)が入学して以降、7月に中学校教員対象学校説明会、8月に「オープンハイスクール」10月に「校区外中学校訪問」11月・12月に「学校見学会」を開催。そのほかにも、中学校からの要請に基づいて各種説明会を実施しています。ここでは、平成20年度の活動状況をお知らせします。

平成20年7月4日、午後(7月考査2日目)、東生会館大ホールで中学校教員を対象に開催。西播・中播・東播・北播・但馬から約80校(前年は77校)の参加がありました。

学校長のあいさつの後、単位制による全日制課程普通科について、在籍生徒の状況、進路指導・進路実績、今春入試などを各担当部長、主任が説明しました。

質疑応答の後、希望者を対象に施設案内も。

オープンハイスクール

8月28日、29日の午後、中学生・保護者・進路担当教諭を対象に、姫路市市民会館大ホールで実施。

第Ⅰ部では、学校長の

あいさつの後、単位制のカリキュラムと授業、進路指導と進路実績、今春の入試について、それぞれ教務部長、進路指導部長、教頭から説明しました。第Ⅱ部では、生徒会から行事や部活動などの学校紹介が行われ、応援団からは受検生に向けて激励のメールが贈られました。2日間約1000人もの参加者がありました。

校区外中学校訪問

10月考査の期間中、校区外の73中学校を本校職員が分担して訪問。学校説明会資料をもとに、単位制姫路東高校のPRと受検勧誘を行いました。

授業公開

「兵庫の教育推進月間」の11月25日、26日の両日に実施。全年次とも5・6校時に、保護者および学校評議員を対象に行いました。

受検生・保護者対象学校見学会

中学3年生とその保護者に対して、本校の特色を具体的に分かりやすく情報提供するため、11月27日・12月3日の午後開催。

校区内から29校(生徒数は124人)、校区外からも21校(生徒数35人)の中学校から申し込みがあり、本校職員が個別に対応。授業見学をしながら校内を案内しました。

体育館の耐震補強工事を実施

平成20年に体育館の耐震補強工事を行いました。本校は特別史跡姫路城跡の中にあります。そのため、文化財保護法の規定により、校舎などの建物はもちろん、現状を少しでも変更するには文化庁の許可が必要です。体育館の工事を行うにも、国の許可を受けなければなりません。今回の工事においても、文化庁との調整で、耐震補強工事に先立ち埋蔵文化財調査を行うことになりました。

まず、体育館の床部を解体撤去する工事を平成19年8月7日・10月5日

まで行い、続いて遺構の保存状況を確認するため、8月28日・平成20年1月31日の間、発掘調査が実施されました。

体育館は、江戸時代後期・酒井氏時代の「姫路侍屋敷図」によると、姫路城中曲輪の武家屋敷に比定されています。調査の結果、一部体育館の基礎により攪乱を受けているものの、現況地盤より体育館建設時の盛土、戦時中の被災面を経て、約80・90cmの深さで江戸時代の遺構面が検出され、その遺構は良好に保存されていることが分かりました。調査の結果を受け、平成20年1月23日、24日の両日、姫路市教育委員会文化財課の小柴治子技術主任により、希望生徒を対象に遺構の説明会が行われました。

その後、平成20年3月25日から8月19日の間、体育館の基礎・天井等の耐震工事、フロアとステージの全面改修・照明類取替工事を行いました。

姫路東高校 単位制移行後の取り組み

